質然起つ

た

西

(上)

西南合作

問題

務氏の行動、野望をじつと反 氏の對西南態度であつた、と ころが常に鋭い批判的の限で あった。と

ら睨んでゐた煙た

南京派

0

武

力脅威

南派との提携を策せんと苦慮 て、政治的解決策によつて西 動西南態度は恫喝的態度を捨

を岡らんと策しつゝある を岡らんと策しつゝある に展開されんとする兩廣決戦 に展開されんとする兩廣決戦

反蔣陣營に立ち籠るや蔣氏の

(-)

は不可避な雲行にあり、悲し とは一寸誰も考へなかつた、 とは一寸誰も考へなかつた、 とは一寸誰も考へなかつた、 と所南支那の雲行は愈よ嶮し と西南支那の雲行は愈よ嶮し は不可避な雲行にあり、悲し むべき軍閥相剋の宿命職を展 が、き軍閥相剋の宿命職を展

(日

概ね左の如きものと豫想さ中直接國防關係以外の事項

日子

「東京國通」 歴政一新に闘し 寺内陸相は入閣の條件として 國體明徴の徹底、國防の充實 國民生活の安定、外交刷新の 四綱目や其體的に廣田首相に 提示してその承認を得てゐる が右四綱目中徹底を缺いてゐ る主要問題に就き更に首相に をして具體業の研究をなさし

る國家統制を設にする事で、重要産業及び資源、就中で、重要産業及び資源、就中で、

西南派

近一新政府樹立

名稱に抗日救國革命政府

督促

居留民會では本日午後委員會 事件に關し協議した結果居留 使館に陳情を行ふ事となつた【北平五日發閾通】北平日本 を開催、英國兵士の邦人殺害 民の安全確保のため軍並に大

當局に

す

强化運動の外一般

民總意の形式で

民政黨が

で居り、西南當局は一般國民 を事官民諸團體は絕對支持の 意を表明し、連日に亘り新政 意を表明し、連日に亘り新政 で居り、西南當局は一般國民

南廣軍も抗日救國革命軍と改 ・ 政府樹立と同時に發表される ・ 政府樹立と同時に發表される ・ である、確開するに右新政 ・ 下である、確開するに右新政 ・ 下である。 ・ である。 ・ でる。 ・ でる。

で のる

會は解消されるものと觀られ稱。從來の西南政務執行委員

居留民保護の萬全を期するた 橋領事は萬一の場合を考慮し 橋東五日景國通」中央對西 南の關係急趋に鑑み河相廣東 南の関係急迫に鑑み河相廣東

よる形式で最短期間

は異つて今回は格のス氏は昨秋來朝

居留民

0

保護を

館より送附されたる佐々木の電より送附されたる佐々木の世本を駐屯軍司令官は軍事を設置し日本大使を設定した。

は未終了のものである。は未終了のものである。は未終了のものである。

たる避難の注意事項を通達し たる避難の注意事項を通達し

英國大使館聲明書發表

衣|

徹底

を

要問

## 月出

六

六

料金一特 第一等 第一等 第一部 五 第

3

満人の趣味に合致せ

3

貿易品

の選

したのが動機となって平羽男の意見が具體化したものである本月中旬正式に國本社解散の際明を爲すこととなつてる

乳

3

土翁上秧)

西

伊之

武

久

割意京

立場上具体會談に入るは 基本的に 致し難り



【東京國通】五日の三相會議はリースロス氏入京、川越大使の赴任を機として支那問題を中心に自由會談が行はれたが、有田外相のリースロス氏 が、有田外相のリースロス氏が、行はれた日英會談所の外交關係一般に就きる最近の外交關係一般に就きる最近の外交關係一般に就きる最近の外交關係一般に就きので外相から

問題は持つて來ない。

英駐屯軍査問

英支の三國關係と東亜の安し、殊に北支問題に就て日我國は支那と特殊關係を有 佐々木氏殺害事件に關するスー 館では五日外人記者に對して「北平五日發國通」英國大使「テ

も素より 県議なく ・ お野 南相の意向を質した

佐々木事件

に關

て特派する事に決し兩氏は近ソ隣國境並に北支方面に向け

兩日市內各所

-後挨拶に來社し及、三宅伊太郎副

防計畫に就て講演を聞く事と一方政務調査會に於ても近く梅津陸軍次官を招聘して軍の存場はのである。

最近各符縣の實業團體では日 直接現地へ人を派遣して商品 直接現地へ人を派遣して商品 で調査を行ひ熱心な關心振り を示してゐるが四日は兵庫縣 管業協會より囑託松井清市氏 が來京、彼上の目的で關係各 が極い、彼上の目的で關係各

日養住、直に日養住、直に日養住、直に日養任、産に日養任の挨拶

松井兵庫縣實業協會 囑託來滿

百

局長着 電々管 日理 新任電々會社 で行つた、尚本社監 で行つた、尚本社監 を行った、尚本社監 で行った、尚本社監 で ・ で考究中である、 を考究中である、 を考究中である、 を考究中である、 を考究中である。

付訂正す 五日附夕刊一面の常辰雄氏挨拶電《中社會主事管辰雄氏挨拶電》中社會主事 往 來

三郎氏(同社員)同年京の一郎氏(曾社員)同年の一郎氏(曾社員)同年の一郎氏(曾社員)同年の一郎氏(曾社員)同年の一郎氏(韓二菜)同日の一郎氏(韓二菜)同日の一郎氏(韓二菜)同年の一部氏(韓二菜)同 答の下に近く二十) たが深い憂ひに奏切つた暗い。 が、却つて凄いほご光つて がはたのみがあるさいつて 彼はたのみがあるさいつて 彼はたのみがあるさいつて ではたのようの間に唇をあて を強さ、後古の町に唇をあて もるご、後古の町に唇をあて して逃げようぢやないか……

進もう他の中へは出られない でとれ……とはは君、きかないてくれ……とはは君、きかとは。

ないてくれ……僕は或は一生選告はつりこまれてきいた

『それで君は何をしたんだ?

氏(同)同來京國都 で、後古は默つてゐた。 「いやかい、君?」 男は、きいた。 男は、きいた。 男は、きいた。

さ、その男は熱い溜息を苦し くいった。

そしてまた力な

『君、僕を助けるで思って一ばお……』『はあ……』『はあ……』『はあれた。との男があまり老後古は、この男があまり老

任)同 本小林芥樹氏(會社員)同 本小林芥樹氏(會社員)同 本一川路真治氏(今社員)同 大連へ 一局)同ハルビン第路 一局)同ハルビン・第路

國本社

散に

決す

されてみ 世間から

| 図本社が社會情勢を持つものと解釋

國本社は平沼騏

▲三原三右衛門氏(大林組)

▲中村亮氏(自動車製造業)同 本山本彦次郎氏(會社員)同 泰天( 泰天( (同)同

淮

◆新京驛、T・B主催吉林爾 光園四十名 六日午前七時 二十分吉林へ、同午後七時 十分歸京 一十分歸京 一十分歸京

後古はやつごさ 『君は楽山弟妹があるんだ み切りて汽車を衝突させたよ、自動車にお客を乗せて

**炳兵あす凱旋** 

院に一泊。

七

七名

大豐陽共療扱同國原桑省と

一 南京側の强硬態度を看取した陳、李、白の兩廣三旦頭はた陳、李、白の兩廣三旦頭は大る態度、對策を協議し、白水、崇禧氏は二十九日孫科氏との然 崇禧氏は二十九日孫科氏との かる、この間 腹東文治派の郷に着手したのである、この間 に着手したのである、この間 に着手したので 一部男を盟さ年三月創立盟を言えたる構成公司法官、地方言としては合意としてはいるが、過れたした。 大側體で

方貴州、湖南、江西、福建各省駐屯軍隊をして兩廣省境に 集結せしめ南京側の言分に聽 後せぬ場合は武力解決も辭せ

ではこれてきいてあた。 ではそれをきいてあてたまらない。 はそれをきいてあてたまらない。 は三つだが、僕がこんなごころへ来てしまつたらきの一番下の弟 は三つだが、僕がこんなごころへ要られないんだ、いや、 他の弟妹もきつご賣られるよ

『えゝ、一度に三人も!』 『えゝ、一度に三人も!』 ま、自動車にお客を乗せて略ま、自動車の運輸手だ した。され、人 うむ、こ 人を殺した?』 いふから 度に三人もねと して君は人を三人

扇氣電立日

元出賣

張出

京新

店

商

のものが死んでしまふくだよって僕に加勢してくれないかって僕に加勢してくれないかかのが死んでしまふくだよ 電え、、六人のものが?』 できずき、僕はね君、六人の の弟妹があるんだ、僕は今まで をの弟妹を養ってゐたんだ、 弟妹はみんな死んでしまふんその弟妹を養ってゐたんだ。 居けて來れば自首する積りだ にかへつてごうしても我慢が にかへつてごうしてあるか見 をおいんだ。それが一度家 って、狭 てもいい 『うむ、僕は人を殺したんだ』 『僕に同情 、僕はもう死肌になっ 、僕はもう死肌になっ 、僕が一切の責任を持 、として君に迷惑なぞか のむよ

上の節は更に御相談に應じ上一一台に付・七十銭・

よりま割割

乳牛八全部健康都明書付! 面 許山 き半割 番 このう

章 天未廣町

一(代表番號)



マネント 最新式設備致し

ヤ街(わから 粧倶樂 と前) **人** 又 梅 之 之 之 子 2 電( :

プは もる御自由に 1 7 大キ カールに 最も自由に御好みに 應ずる事が出來ます 二台の

『そして君は幾つかい?』 これがい

かち知れないんだ

H タ Ľ

可

採用試

陸上日本が持つベルサンへの 到着すると待ち受けた関都の コ着すると待ち受けた関都の では、マラリン選手

ラソン選手一路

負は

の豫言者だといふ事に

きつと貴方が優勝し

ければこれと関く向き合つて 麻監督と並んでソファーに掛 談會を開いた、鹽飽、孫、鈴 談會を開いた、鹽飽、孫、鈴

事長をしてゐる八米文数部總事長をしてゐる八米文数部總事長をしてゐる八米文数部總事長をしてゐる八米文数部總所の定金栗さん等が早くから始まつたに於る唯一の陸上競技だつたに於る唯一の陸全栗さん等が早くから始まつた世別ので金栗さん等が早くから優勝しない、三段跳とは既に二国連續優勝しない、三段跳とは既に二国連續優勝したのにマラッとはこの前の前の回に四等

監督の答へ

もマラソン選手は小さい方が返つ とのです、だから日本 は小さい方が返つ で日本選手の

ある際でこんな豫言 ともに行け な迷んでも優勝の

も一時間三十分以内

娘々祭り

日より九日まで六日間大屯阜艦山渡々駒春の最大行事として満人間に待たるる娘

始まる

(寫眞は大屯娘々祭)

たり、木甚しいものになる、場所すの車體の改築りにも不體裁といるではなく、場所のは事態の根本的がある。

奉賛會結成

**砂醫察廳保安科** 

記念事業

からは記念公會堂に於て を行ふことに決定したが を行ふことに決定したが を行ふことに決定したが 事務所主催にて市民大祝 事務所主催にの市民大祝 事務所主催にの市民大祝

(=)

發聲 で萬歳を壽が

精進して居るが本年満洲関政 日と制定し又今回張國務總理 所は同日を以て訪日宣詔記念 大臣は日満兩方面の有力者を 大臣は日満兩方面の有力者を を組織し御内帑金の下賜を仰 を組織し御内帑金の下賜を仰

飾る歴史的盛儀を祀

日手に **〈 日滿兩國族をかざ** は午後三時西公園運動場に集 うるため日滿各學校生徒兒童

部並特殊會社の首腦者を夫々

和で居るのは日満傷病軍人の 会に於て具體的に研究する 会に於て具體的に研究する 管であるがこれ等は實行委

## 記念事業として目下考慮せら

日乃出を拜す集

曜日) 午前三時五十

五分

午前八時、

9京白、白溫 平齊 大郷山前後に新京に入り十四日

筆に左の近作を記してあつたと本社宛消息があつた、尚末と本社宛消息があつた、尚末

東東亞與隆 財東亞與隆

は

變裝競爭

# 客馬車が

に於ける三千臺に近い乗合馬車營業者に對して其の車體を を整べさせ尚其の料金を車體 の一定の箇所に掲出させて客 と業者との間に起る口論を助 と業者との間に起る口論を助 なると車體の強料が粗悪ななると車體の強力を所損する様なものがあったりしたり赤座席が狭かつたりしたり赤座席が狭かったりしたの赤座の横足することが出来ないものかあったので此の際一般的に車體の改ったのでれることでは、大り赤座席が狭かったりしたり、大り赤座席が狭かったりした。

変亀子樂團一座の餘興を

金標も必ず

掲げる

地方事務所庶務係で

のにし亦客と業者とが料の事から論を生じて大道に車體の一定の箇所に必に事物の一定の箇所に必然を構出させる標となる場合に重要を構出させる標にある。

一行五百五十名あす淨月潭へ

誰でせう?

ツと押し寄せ係員閉 第一日はざつと二百餘名の申方事務所土地係で開始した 時バス二十数台に分乘して華場関都建設局前に集合、同九當日は午前八時三十分大同廣 関の呼物になつてゐる變裝競人としく出發する、なほ當日余 十定員五百名を超過し遂に一上の爆發的人氣の裡に五日上の爆發的人氣の裡に五日

で一服する暇もない多忙を極込みあり係員は午後七時頃ま 他が加はり變裝者は左の七



しそれ以外は絶對受付けぬこと前九時から午後二時までとにより今後借地申込みは毎日

屬され一行に加はり五日門司治療實施に方り案內聯絡を委

さらば行け

元新京公學校長小林治郎氏は

前公學校長來京

政美明

好 三

王堂氣大

大每主催滿洲國西域巡回免費











今頃は春から夏へと季節の 今頃は春から夏へと季節の ことは申せないが先づ大丈 ことは中せないが先づ大丈 操り

女學生見學

主店スンタ村木

異色ある國寶的藝術東賓名人 會專屬の操り人形劃場結城孫 等女學校生徒千余名のために 特別開演し五十數本の糸によ つて人形が生けるが如く活躍 する襲妙な技藝に多大の感銘 を與へた、因に一般公開は六 時半からである

南の風晴後雲

日日の出類の人出類の方人

右希望者に譲りたし詳細は面談の上一階建延坪約四百坪(二百四十余坪)

電話(2)一八七七

申込所

新京特別市公署總務科

產婆開 市民早起會五時三十分 街時刻三時五十七分)

ブケ

П

科に勤めてゐた産婆柳ビル内で一般の助産物ビル内で一般の助産 滿錢新京醫院產婦人 司式說数 久島 時職體拜 午後4·三 司式說数 久島 日本學校 午前九時

講師 本願寺主任 微盟「健宗教と我信念」 り 午前六時より ・年前六時より

日曜職學校

**農朝法話** 

寺行

ス

位.~ 二、曜、信禮學六

ニノ十七、ホーリの根本義」- 笠牧師後七時三十分より 全 日 日

ノー四九五番呼出- 挨拶に來社した、田

大同廣場建設局前

西) 東朝陽路 (東朝陽路二〇一、大同公園 大友・牧師 日 本水

が生涯」 三笠牧師 日前九時より、日

本六·三〇 舞臺劇(大阪) 一大阪歌舞伎座より中郷一茅の 「大阪、本七·三〇 歌澤(東京)一 長崎、二、 従の川麓明、三味 長崎、二、 従の川麓明、三味 長崎、二、 従の川麓明、三味 長崎、二、 従の川麓明、三味 「東京)紅薔薇ロンベルが作

納らぬ妻

中央通り

り岩間で

商一

日まで

石 部間

( (m) | O

四七番)

▲カメラ展第二日、午前九時 一後八時、公曾室 一後八時、公曾室 一後四年半新京對電 本社後援、結城孫三郎操り 人形第二日、午後四年半 八形第二日、午前九時 一人形第二日、午前九時 一人下第二日、午前九時 一人下第二日、午前九時 一人下第二日、午前九時 一人下第二日、午前九時 一人下第二日、午前九時 一人下第二日、午前九時

平安北道定州郡生れ新京特別 市新立屯王家胡同三號金東除 (二八)妻桂玉心々二五)は かねて不貞な振舞を行つて二 三回家出したことがあるが相 髪らずおさまらず五日午後六 時ごろ主人の不在中フラメへ

最優秀なるサ

V

ゴ製品各種陳列御批評を乞ふ

台

灣

瑚大特

會

御買上金十圓以上の御方へは粗品呈上)

戀の五十女

◎帶止、

、玉プローチ、

カウス釦、羽織紐、

ヘヤ

ピン其他各種

出灣

台

灣

物

產

紹

介

所

年齢十七、

數名入用

メイヤ街

屋

旅

館站

二九三

台

北市

連れ民さる 東に監落し十五日次女を喫茶 京に監落し十五日次女を喫茶 虎灘中橋タニ(四六)は既報 の通り情夫奥地安吉(五〇) とゝもに東二條通り四十六番 地に愛の集了を営んでゐたが 地に愛の集了を営んでゐたが 本てクニを連れかへつた

すも上天氣 青

野く内地各地へ旅行中の處本日歸院致 し從前通り一般診療に應じます 解和十二年六月四日 電話(3)五五一番 電話(3)五五一番

貸店 時 協 会

新京百貨店蓄音機部 有貨店內

けふの氣温二十二度六 の容挨拶に來祉したの容挨扱に來社した

右御希望の方は自筆履歴書持参御來談相成り度く候

事務員

募集

月六日 名古屋木子但し面會六月七日限り

名古屋ホテル本店

現在營業中のお店でも御都合次第で

は譲り受も可

旭ホテル九號室(若幸)

方迄

カフェー又は喫茶店向目技の場所で

貸家を求む

五日の整領からふつとばして 一年後からは日本時れとなり六 日は朝から市中は要襲帽子の オンバレードすつかり夏氣分 で十一時の氣溫は二十二度六 このむきだと七日の本社主催 一門では絶好の機會、雨が 一つきものよ滿鐵運動會も今年 は惠まれたと三千社員は頗る は惠まれたと三千社員は頗る 関らかだ、明日の天氣につき 観測所では 競 第 第 二 次

新緑の南嶺にて馬糞を拂

さか

15.

8

食堂

盛業中

城内一流の料理店譲

1:

電話三一四五八三番

か

新京公會堂で開催を講習所の作品展

日 時 六月十日午後四時三十分 仕候間御賛同相威度候

0

會場

込 費 所

金一圓(會祭引換に申 新京記念公會堂

最高 二六度二 九分 第二時五十七分

東寶名人會專屬操り人形劇場

た時の調子を取り返せば必をやるため調子を取り返せば必をやるため翻子を取り返せば必をやるため翻訳でトレーニングをやるため書で、勿論旅行中でよりますが何時も思ひれて居りますが何時も思ひれて居りますが何時も思ひがが、ラやフィンテンド、今の處してはアルゼンテンド、今の處しないのが飛び出て来て、今の處しないのが飛び出て来て、今の處しないのが飛び出て来て、

助しさうだな でして居る、貴方今 でして居る、貴方今

君の體を見比べてゐし、鹽飽君が少し大き

仮には總陸上軍も新京に額を輝かせて居た、

土

戀の投げ節

吉川小山川

ス和君よド清

TEL(2)2187

餘興

一般の飛入り歡迎!

ダ

總出。 田

・ダンスホ

日

名物日曜10センダ

H

治氏新任。

大月のみどりの映えもあざゃかに
和食部が出水ました
この味覺、この雰暈気ぜひぜひ!
この味覺、この雰暈気が落ちつける
この味覺、この雰暈気が落ちつける
この味覺、この雰暈気が落ちつける
アク
いいことで・モンテカルロへ!
カーカックで落ちつける
アク
いいのであるが、大月のみどりの映えもあざゃかに

譚

者優待割引券

讀者優待割

引

(但一人一枚限り)

新京日日新聞社

| 一点・七兩日公會堂|

「操り人形」 一六・七明日本 お城孫三郎一座

(但一人一枚限り)

新京日日新聞社

**一年と成と王が吉** 中でが如き日運編

運氣開ける

人梅雨晴れに日を

附かぬ不快なる日意氣消沈して何

競技方法

八白の人 積極的に事を運

・九紫の人・ 重荷を負ふて ・九紫の人・ 重荷を負ふて ・ 大橋を渡らんとする如き日

合費金二圓也(但食事附) 開催場所

●三碧の人 思惑は外れて手 の出し様なき失敗あり注意

四線の人 苦勞する程に實

時 昭和十一年六月七日午後六 開催期日

●二黒の人 絵徳あれば陽報

辛と壬と艮が吉

接後祉本

味は、そのもつ東洋風なデリ 大き續き一座得意のものを以 の工飾られる、操り人形の妙 では、そのもつ東洋風なデリ

妙味、盡

きざる

原子嬢はもう一年半ばかり動った 選に渡れたのよとしほらしく といふ人は「前髪を垂れてた」といい、人は「前髪を垂れてた」とといる人は「前髪を垂れてた」とといる人は「前髪を垂れてた」とといる人は「前髪を垂れてた」とといる人は「前髪を垂れてた」とといる人は「前髪を垂れてた」とといる人は「前髪を垂れてた」とといる人は「前髪を垂れてた」とといる人は「前髪を垂れてた」とといる人は「前髪を垂れてた」とといる人は「前髪を垂れてた」とといる人は「前髪を垂れてた」とといる人は「前髪を垂れてた」といいた。

映

画

٤

演

Sein Sein

公公

18 C

の は、マキノ、フォックス封 豊楽劇場七日よりの番組は下 豊楽劇場七日よりの番組は下

求婚三銃士 

の野機を逸せざるやうお鷹めの野機を逸せざるやうお鷹者は刷かるところなきものがあらう を持ちる形而上的興味は、単なる珍奇をはるかに通りと野聽して極めて純粋 の運種であるが本紙讀者に端的に の写種であるが本紙讀者は刷か、普通人間 の野機を逸せざるやうお鷹め

「素晴らしき空想」は純粹喜松竹大船野村浩將監督の全後 のギ 野村浩將新手 ヤグ

使つて行くつもりです。 は見た目に面白いと言ふよりも心から笑へる、理論的 にどうしてもをかしくつて にどうしてもをかしくつて にどうしてもをかしくつて にどうしてもをかしくつて たまらないと言つた様な方 たまらないと言っよれ



日 七 月 六日八十月四節

ものでした、併し今度の映た、ギャグには寫實的なものとがあり僕が、ギャグは多く寫實的なた、ギャグは多く寫實的な

夏の夕べに意義深き催し

を心

羅し弦に劍味盗るる第一回

競技大會を開催致します

記念して練達多能の雀人を

の構成振りを見せやうと苦心監督も従來とは異つたギャグ劇と銘打つたものだけに野村 

後六時より

當クラブの新裝を

**ル名は柱愛倫といふのですした、彼女は支那語が、** 大へんらまいのですそのホーナへんらました、彼女は支那語が、 のRGR麻雀クラブは此度の 新らしき道を拓

來る六月七日(第一 も續々上海より入荷し大好評殿堂を提げ一大飛躍を試み牌 を博してをります ル改造を以つて愈々名實共 異色清新の 日

の麻雀殿堂

て雀界注視

亦

雀人の社交機

新裝設備を誇る 一回新裝記念 麻雀大競技會開始

大日本麻雀聯盟滿洲本部

新京ダイヤ街天平西入 TEL (3) 3722番

マラド・トッネオリマ 會公念配於子院/派7

!加暖に但心でる加強に當相風・人三婿に人一娘

ほのきめた 木留字上發微萬帯

鳥追ひ姿長谷川伸展 愛し夫と 土家の若旦 出特

演

競馬!!を中心とするスリ 革命的ニューろでる

明 踊

リカ舞踊界の明星ヴ

ーザー特別出演・

ボテ

告

0

三十四三

0

〇番

骨造生董花花 新京村田出張所 ヤ

新

休無中年 医

へあれば!

悪 ないったなる 御

散 具 步 は は 西 公 園

電三-五六九五番

荷間氣味の折柄夏密柑、バナ島に賣れ行き思はしからず稍生果類は一體に適日の天候不

商工會議所調査によるし

方面 國線 其他社線 台計種別 四平街 奉天 營口 大種別 四平街 奉天 營口 大新京課發送貨物主要品別表

口 大連方面 大連埠頭 安東 下旬)(單位略)

▲環狀線伊通河第二橋梁架設 工事は一、二回雅超に決定 せず引續き三回することと なつた

→大連工事々務所

元製品潤澤に幾分下廻つた

二二のジャワ航路として航路統制法の適用が豫想されて居るから、川崎汽船でも同法の適分 動を未然に防ぐ目的で恐らく協を講ずるものと見られてある、尚ほ同線の收容貨物は往航は難貨、セメント復航は羊毛・棉花であるが、對際問題が紛糾すれば此方面の羊毛の齢入激増が豫想されるので各齢入激増が後想されるので各

と各精米所手持漸減で引續き 相端は、依然たる需要の旺盛 と各精米所手持漸減で引續き

であり、加之端午節手當のして三等粉の需要旺盛に向ひして三等粉の需要旺盛に向ひ土建界の活況に入京苦力豫増

端午節を控へて商内漸次活況 を呈しつ」あるが旬中入荷敷 量は前旬に比し二六八應を激 増した爲め荷間氣味なのと各

OEI.1 0111

(六月六日前場)

報告

NO 1144

海外經濟電報 一九片一六分 電

大力 一 一 一 大力

好成績に鑑みて

集團移民を増加

補助金一戶八百九十圓に增額

高村 11:1.6 · 0 11:1.6 · 0 11:1.6 · 0 11:1.6 · 0 11:1.6 · 0 11:1.6 · 0 11:1.6 · 0 11:1.6 · 0 11:1.6 · 0

ーケ月の豫定で開催、アフリ ガに於る見本市は西海岸のラゴスから北上モロタコ、カサゴスから北上モロタコ、カサゴスから北上モロタコ、カサガランカ、カイロ等で開催、アフリー

### 健全な満洲投資は 援助する方 手形交換所聯合會で藏相説明

で 東京観通」馬場職相は五日 で東京銀行クラブに於ける第 で東京銀行クラブに於ける第 、私は財政々策にしても 第一義であると信じてゐる 第一義であると信じてゐる 所金利政策もそれである、 低金利政策もそれである、 低金利政策もそれである。

及其の他會員よりも種々意見 者望等あり同問題に對しては 未だかつて見ざる真剣なる批 判と検討を重ねたが震現しませた 大一銭値までを第一期計畫と し工費三千萬圓の見込みであ るが將來行く/ はこれを新 を、因に運河開鑿は營口一率 天一銭値までを第一期計畫と し工費三千萬圓の見込みであ るが將來行く/ はこれを新 なたして南滿に引き水運水田 その他に利用せんとする理想

決定工事 土建ニュ

てある

1 ス

金 筋筋力限限限市ゴムーロ限限限限限物米 香替替シル替替替児 俄ル

では、 では、 では、 では、 では、 では、 の関東局令案は、 の関東局令案は、 の関東局令案は、 では、 の関東局令案は、 では、 の関東局令案は、 の関東局令案は、 の関東局令案は、 の関東局令案は、 の関東局令案は、 の関東局の審議も近く終

品市況

吸水。四次五二三 寄 引 出來高

新京取引所市況 (六月六日前場) (六月六日前場) 그를 [ 그를 [

京名物 話(3) 五章

室町二丁目公學校前(賴殷ピル裏側) ぶたまんぢゆう 滋養美味

衛生、清潔 天下一品

E. 150

區域新京市內 日日 

#### 新京土建 もない、而してこのため 対は益々助長せられれば 等は益々助長せられれば のない、而してこのため があるが此の のない、あるが此の があるが此の があるが此の があるが此の ま要めばの年 (東京國通) 折務省では最近 極めて好成績を舉げつゝある とに決し明年度より本年度の を立案し之が實現に努力する を立案し之が實現に努力する

し一戸當り約二百圓を増加し、 
尙ほ移住費補助金も本年に比 北支へ 進出か

年より

過殿中銀の定礎式に参列した 大林組社長大林義雄氏は引續 き北支方面の視察を行ひ日支 野路と會見して細密な専門的 打診を試みる外東洋紡績天津 工場の建築請負についても具 體的調査を行ふ豫定といはれ これと並んで大倉土木、銭高 は業界に注目を集めてゐる 市では開所準備を進めてある 所では開所準備を進めてある 所では開所準備を進めてある 五月中の成績は左の如く

本は続排水鐵管布設工事 | 1・元素・0) 神 谷工 務所 | 1・元素・0) 神 谷工 務所 | 1・元素・0) 神 谷工 務所 | 1・元素・0) ・神 谷工 務所 

◆新京集合社宅配管改築工事 (延期され六日開札) ◆新京神社祭器庫及び内塀新 築工事(開札六日) ・受誉結需品局 月には勅令を以つて公布を見 る見込みであるといふ《實施 期は會計年度の關係から來年 四月と豫想されてゐる、同法 令は時運の推移により日本の

歩進んだの

▲ 点 搭

相場

本向五〇〇

川崎對郵船兩社の

南米航路爭覇

統制法適用で妥協か

工事(開札十日)

▲ 奉天鐵西安福街外一路鋪石 道樂造工事(開札六日) ● 國際運輸會社宿舍新樂工事 (近日中)

注目が向けられてゐる▲滿洲 有商務會の指導方針の確立が いま論議されてゐる、一論者 が、今日財閥の利益鹽斷中小 商工業への胚迫が批難攻撃の 的となつてゐる各機關の過去 に於ける功績は認みつゝ、為 を受省してゐるのは聽く ことを反省してゐるのは聽く ことを反省してゐるのは聽く て居り各方面より多大の代表制を採用することに

本大連為 東京株(短期) 東京株(短期)

外覺の王座

匍御

宴食洋

にに食

なな 和

各地特產市況

七日 り九日

上映時間 第二回 8 . 00

を前の戦党 多喜次彌の界銀 b

So xxx o xxx

e xxx e xxx e xxx e x

中鎌三郎氏は佐賀縣の人今年一の銀總裁に就任秩定を見た田

十一年東大法科を率へ直ちに五十四歳の働き盛り、明治四

理事として活動して來た精製代表等に懸任、その後日

カリス政府

行機で南京に到着、陸軍武官関は六日午前十時漢口より飛り上り飛り

養養等各地の税關長 し如何」に對して內 の可が定 の前途に對 の前途に對

時相に迎へられてスヴィ エック氏は五日午前アベ 山中ロッカデルカニカミ 中にあるムソリーニ首却 ボイエムソリーニ首却

ニ首相の

▲内田太一氏(商業)同大連 「一日本京中央ホテル 「日本京中央ホテル 「日本京中央ホテル

ベュニジ

動着、斯くてムソリ

[大連國通] 大村滿錢關總裁 正 日 來 京

來京

就任に對する我財界方面の

下ン支店長、同大阪 うる我財界方面の意 うるで同氏は数年前 うるに同氏は数年前

圓滿に解決せん 為金融諸問題

干

セ

ル海相

京登封支十七日歸京の豫定で情況視察の爲八日午前七時新田中交通監督部長は北支交通

各國この

互惠條約締結が急務

全國稅關長の意見一致=

菅 自動車課長満 東京國通) 鐵消省の自動車 課長菅健次郎氏は満洲國及中 華民國に於る自動車運輸事業 の視察及日滿立三國間の通絡 事務打合せのため満洲國 及中華民國に出張を命ぜられ 三週間の強定で來る十日頃出

視察へ

田中部長北支

れが貿易の

打

開

**式協定が成立した** 

と同氏

改選期を期し

銀首腦更迭か

日本銀行に入り歐洲大戦後の経済動揺期の歐洲に在動して本店調査局に入り再び渡英ロに理事に昇格した生へ拔きのに理事に昇格した生へ拔きの日銀今後の發展に處する最適任まえ見られ對鮮銀との交渉も

のは勿論、日滿經濟プロックのは勿論、日滿經濟プロックの 投資問題等日滿金融上の諮問 投資問題等日滿金融上の諮問 投資問題等日滿金融上の諮問 日滿不可分關係は金融上の諮問 明國人中より適任者を選出し 現理事は全部一應辭任する筈

申込期日

六月廿三日まで

(ホ)規則は日

則は日本排理協會昭和十一年度規則に依るチーム補缺共十二名

成氏辭任、邦人總裁制を採用

せる第一及び 第四集團軍より 成る中華民國革命軍に對(廣東六日發國通) 五日西南政務委員會で は改編に決定

反蔣陣は强化されるであらり て反蔣決意を固める事となり を定を脅かされてゐた地方武

面の意見を聴取してゐるが、 産業招書記官長は六日午前近衛 公を訪問庶政革新に對する版 田首相の決意を説明した後現 下の政情に就ても重要懇談を での會見で近衛公が熟心に首唱 して政府の方針を説明した後現 して政府の方針を説明した後現 して政府の方針を説明した後現 して政府の方針を説明した後現 して政府の方針を説明した後現 して政府の方針を説明した後現 して政府の方針を説明した後現 して政府の方針を説明、庶政 本意に対する審直なる意見を 成に相當の寄與を総すものと

の佐々木氏殺害事件に關し四|對し

公安局の陳述書を手交す

八殺害事件

署の作成せる陳述書類を手交 に就て支那公安局第一區警察 に就て支那公安局第一區警察 一個

北伐動員

して即日北伐出動準備令が發せられ

全國の反蔣同志に

蜂起を飛檄せん

四南兩委員會の重要決議

(上海六日愛國通)南京中央側で來着を待ちつゝあつた西南派陳済棠氏代表楊德省氏は南京到着の豫定で、中央との間に如何なる折衝が行はれるか極めてなる折衝が行はれるか極めて

南京に入らん

場

所

新

京敷

島

高等

女 學

校校

庭

格

新

京

在

住

者 12

限

る(男子女子共に)

加

六月

十八日

午前八時半より

試合開始九

高端別國に於る施政振りは 一部では、 一部でした。 一でした。 一でし、 一でし、

の出動準備に關し重要會議のの出動準備に關し重要會議のを開き四日各界民衆代表の救を開き四日各界民衆代表の救を開き四日各界民衆代表の救

會社の級洋號は去る廿七日英(香港六日發國通)太古汽船

廣東

北文で密輸 とれば英米その他諸國は北支 の特殊貿易に就て非難してゐ の特殊貿易に就て非難してゐ

法方合試

(の)トーナメ

ント

但し三チームの場合はリーが戦とす。「ラス何れに屬するかは本社及關係者側にて定む」

軍需品職載船

英米が盛んに

確立に努め來りその成果見る

滿洲國は之が準備

備し 原放は 本の 関連ないである。 が、立を でいる。 でい。 でいる。 でい

一般の状況は著しく好轉 を発力した、東支鐵道(北大) 一般の状況は著した、東支鐵道(北大) 一般の對外貿易中輸入に於ける同様増加したが輸出に於ける同様等に於ける同様でしたが輸出は前年を 一九三五年度 一九三五年度 一九三五年度 一九三五年度 一九三五年度

庶

新

具体策に就き

められて居り、最近では歐米

れば

兩集團軍

10

「る具體策樹立の爲各古宗國通」政府は庶政一部

、態式輝氏等と 氏邸に於ける青山 長郎に於ける青山

府要人との會見は行はれぬ害と海に向ふが、今回の來京は

後も調査資料を送られたし始したがこれが進展の爲今軍事査問會を設置調査を開

近衛公と

重要懇談

ある事は旣に

滿洲國

の躍進目覺了

### 語的问题

建國

0

英靈

0

n

に散在する

る犠牲者 富山、

の遺

全國行

脚

長岡氏

夫人を伴

旬鮮任して歸京後府下砧村の 職にあつて盡力した貴族院議職にあつて盡力した貴族院議職にあつて盡力した貴族院議

内政百般の整備に充實に

歐米の認識是正さる

本事整備の下に秘密裡に當港 東軍當局が購入した軍馬六十 頭其他多數の軍需品を滿載し、 で居たと

日

業權協定案

府委員會で審査

員を指名し、審査を委託した 第一回委員會は小川商相旅行 中に就き歸京を待ち直に開かれる豫定である 委員長 櫻井鍉二 委員長 櫻井鍉二 委員長 櫻井鍉二

の工業所有權相互保護に關す を委員長とする左記七名の委諮詢になつた日本と滿洲國間 で平沼議長は六日櫻井黌二氏東京國通)過數樞密院に御 る協定は内容が相當重要なの

官更州餘名の 前、氏が在官

はないと遺族慰問を思ひ立つに出動して斃れ護 へ御墓参りをして歩くことにに出動して斃れ護 へ御墓参りをして歩くことになつた日本田身の なつたものである。先づ第一なつた日本田身の なつたものである。先づ第一に出動して斃れ護 へ御墓参りをして歩くことに ないと遺族慰問を思ひ立つ

ひ一年計畫の旅に

長岡氏は語る

がる事になつてゐる、右に就 で只管この犠牲者が全國 での「大年計 での「大年計 での「大年計 での「大年計 での「大年計 での「大年計 での「大年計

會談に入づた、席上シュシュリアに於る内閣改造の無温を を求めた後護國團領袖との關 (を求めた後護國團領袖との關 (を求めた後護國團領袖との關 (を求めた後護國團領袖との關 (を求めた後護國) (を求めた後護國) (を求めた後護國) (を求めた後護國) (を求めた後護國) (を求めた後護國) (を求めた後護國) (をなっと、一方ムソリーニ首相 (をなっと、) (なっと、) (なっと、 ー、 5エッコスロヴァキア、 ボーランド 桐園に對するオー、 5エッコスロヴァキア、

相の意向を打め が向を打診した ク首

館

柄

隐

調

東洪兩善隣國代表がイタリー (代表を振澂せぬ方針を披瀝し 代表を振澂せぬ方針を披瀝し

政府の立場を代つて擁護するとならま意見を交換したものとみられる

カレオ飛行隊將校四名は豫て高した確報に依ればソ聯ポチの大を強い、大きないのでは、大きないのでは、大きないのでは、大きないのでは、大きないのでは、大きないのでは、大きないのでは、大きないのでは、大きないのでは、 飛行將校四名 満洲國 脱走を企て逮捕さる 事は近來珍らしい事である 書は近來珍らしい事である 書は近來珍らしい事である。 事は近來珍らしい事である。 事は近來珍らしい事である。

隊を脱出し満洲國へ逃

MC-00 MC-01 MC

聯

電話(2)3951 ソ聯軍倉庫 ブラゴエ 五日夜爆破さる

亡の計選を続らしてゐたが遂 された、右はソ聯軍歐内に於 された、右はソ聯軍歐内に於

佛金本位停止に對處する 英米の 式 協定成

【ロンドン六日發國通】フランス大龍菜の悪化と共にフランス大龍菜の悪化と共にフラスに至ったが、ニュースクロが、ニュースクロが、ニュースクロボ位停止の場合共同戦線を本位停止の場合共同戦線を本位停止の場合共同戦線を本位停止の場合共同戦線を 新京に赴き 後八時

11. 40 11. 40 11. 40 11. 40 11. 40

会地方事務所長に傳へ、十一 日「あじあ」で歸連、十三日 田帆の扶桑丸で東上、株式總 曾に出席の豫定である

事課長が兼務を命ぜられ六月 課長後任 管理局副局長課 長後任 管理局副局長

來社

挨學 新麗新同人北日日南同日同同京同東同大東川同日同大瀧奉大大周哈滿東同東日瀟同東同電同滿同哈新瀛大大五大吉同新同同瀟同同正同朝同滿雜第京蒙京 造海產產滿 魯四一版 京 同京崎 本 阪洲天連連水爾洲亞 亞滿洲 洋乙信 洲 爾京洲連連品連林 京丙乙洲二 隆 鮮四洲四一倉毛建 肥製コ業瓦 漁 電 下 電電造 郵 商化製製機土セメ土 連ル工 拓 電 鐵 交取取錢豆代五銀 銀 銀分國分分庫織物新料糖ム新斯新業新新鐵新鐵新力燈船新船新船學麻氷械地メン木新草ミ廠新殖種話新道新易引引鈔新行品行新行新新行新新行新新行利债利利

三五七八四五〇一五五三五八一

日 瀬 實 業 協會 支部移轉披露宴は六日午後六時半路頭業協會瀬洲支部の新京日瀬豊業協會瀬洲支部の新京

〇七八五六七

往來

▲農井少將 大日午後遼賜へ 本井上、 凝省會計檢查官 同 率天より 本天より ▲重松三郎氏〈宏天專賣局員〉 同奉天へ 人大西吉次氏(會社員)同大連へ 連へ 一間ハルビンへ 同かルビンへ 一間ハルビンへ 之助氏(関東軍屬託)

公债株式現物賣買 畑 園太 新京老松町十二 商

取 引所仲賢

電話(3)六一六五名 天 大塚青 加茂町二 賀 次

**E**四

が宋の顧問として迎へられと見得る。馮の舊部下鹿鐘

で別圖の蒐登橋迄に來る(イ)、で別圖の蒐登橋迄に來る(イ)、中心の平坦な道で、相當ビッチを擧げ、相手にもし遅れて居る場合は此れ迄に、既に挽回して置かなければならぬ、相常引き離して居た場合は出來得る限り、此の橋迄に引きすべく計畫を立てる事が肝となる。

には餘り優秀な定者が居なか昨年度の區間に當つた走者

2

開

場 正午より試合開始午後三時より

3

期

日

六月九日十日十一日三日間(雨天順延)

4

すれば、相當効果を挙げが本年は此の區間を最も

第四區間迄もつて行けばよ

到する適當な、フオー・- ムに氣を付け、上りで

政府の財政に大打撃を與へ

平坦であるが、此の属間は、 で勾配も最高千分の三十九 位であり、大部分は岡面に示 位であり、大部分は岡面に示 が対し、(イン(ロ)は殆んど で対し、(イン)に対し、

ので、途中二千八百米の、だ米間の走法の運用如何にある要は蒐登橋迄の一萬二千三百

きではないかと考へる次第かとも思はれるのであるかかとも思はれるのであるかかとも思はれるのであるかい。

育のは政に大打撃を與へて北支税闘の税收激落は南京

の言動をやつてゐるのは、明 神が南京に於いて盛んに反日 神が南京に於いて盛んに反日

宋哲元への牽制であり、

への働き掛けであ

米を抱き込んで日本に對することに成功した。ことに英國のリース・ロス氏が大きな働きをした。リース・ロス氏は支那財政の立て直しと英國の商權擁護を懸命になつてやつて來た。支那財政の最等をなて來た。支那財政の最等をなってやつ。

杏慶

漫等

百法

アロースミス』だらうと云はるのであるが主人公は青年階でいた。 大で踏大、研究所などの内幕が深刻に素破抜かれてる、又 志賀菌設見者の志賀博士や野 古英世博士などの名前も出て 日本醫學の侮るべからざることなども書いてある、ぞれで となども書いてある、ぞれで となども書いてある、ぞれで となども書いてある、だれで

を言渡すと

女主人公は同時に二人の男に又『アン・ヴィカース』には

居る、自分の知つてる

一個等耻つべきでなど がらみや老朽で腐り からみや老朽で腐り からみや老朽で腐り からみや老朽で腐り からみや老朽で腐り からみや老朽で腐り からみや老朽で腐り からみや老朽で腐り からみや老朽で腐り からみや老朽で腐り からなるのが

消えて無くなると云ふ自信を悪魔頭上の権ぶた同様今地型の腹落は國民發達地中時的のものだ健康を悪魔頭上の権ぶた同様今のないた健康を表演した。 一般 はいかれてもチットも怒らぬばかれてもチットも怒らぬばかれてもチットも怒らぬばかれてもチットも怒らぬばかれてもチットも怒らぬばかれてもチットも怒らぬばかれてもチットも怒らぬばかれてもチットも怒らぬばかれてもチットも怒らぬばかれてもチットも怒らぬばかれてもチットも怒らぬばかれてもチットも怒らぬばかれても

々强めるのであるから

支政権内部の結果を聞す

社

無條約時代

に對應

海軍新豫算編成

一主義をどる

協和會工作進

胜

分會設置協議

九日政府各部首腦者參集

□來高 · 六季
□水高 · 六季
□水高 · 六季

爲替相場

靜

一天龍

二郎

の反對の面に向つてゐるに、現實の事態はむし 反對の面に向つてゐるので に、 そのひとつの前觸れであ た。最近では、 共産軍の綴れであ た。最近では、 共産軍の綴れであ (東京國通)海軍では政府が 明年度豫算編成に關し閣議先

年 決方針を 来る七月三日の は七月三日の 関議に於て陸海 中 変急いであるが永野海相は明 で せたのに基き之に間に合はす 年度独算が國防第一主義によ ら本月末には長谷川次官を中 を急いであるが永野海相は明 心とする非公式部局長豫算會 を急いであるが永野海相は明 心とする非公式部局長豫算會 日 を急いであるが永野海相は明 心とする非公式部局長豫算會 は 一个後逐年週増する陸海軍國防 而して海軍無條約に對應する しずか如何にして時はれるかの 明年度をその第一年度とする しずか如何にして時はれるかの 明年度をその第一年度とする しずか如何にして時はれるかの 明年度をその第一年度とする しずか如何にして時はれるかの 明年度をその第一年度とする 應する新財政計費樹立の為に對路に關しても重大なる關心を

| 「一十一年度に於ける簡易保 | 一十一年度に於ける簡易保 | 一十十年度に於ける簡易保 | 一十年度に於ける簡易保 | 一十年度に於ける | 一十年度に被ける | 一十年度に於ける | 一十年度的 | 一十年度 内容 建造、補助艦艇 の建造、航空裝備の擴充、水 の建造、航空裝備の擴充、水

金の公共貸付利率中四分三個と一應決定したるものに野性人の法人に對するものに対ける地方自治のに対り外地のものは据置でした。 帆、樺太及び豪海の地方既往貸付金に對しては關

た。100 た。100 た。100 にこが 、 一二が 、 八月三七日曜

聴け!

天龍悲壯の

叫びを!

隨滿

の麻雀殿堂

大日本關西角力一行

商况欄 達成を期する筈であ

不部として學生達の目

況

應見島錦洋與二二郎

銀市

八月六日後場)

金

計 1120.50

大連長崎鹿兒島行大連長崎鹿兒島行

各地商品市況

大

和大和錦幸勇

引演 後生 場糸

一寄

亞細亞人を排

國政

府撤回を要求

マラ政府

(地震) 有一次 (也定) 有一次 (也) 有一。 (也) 三八圓

三三五銭

會

ためオムスクへ急ぐ京大教授 山本一清博士は稽葉、堀井兩 助手と共に六日午前六時廿分 着列車で來哈した、北滿ホテ ルに一泊の上七日午前八時廿 分磯列車で満洲里經由オムス クへ向ふ筈

日本 ・ファ府 一五園 一人園 ・ラス 一二園 一人園 ・等る 一二園 一人園 一本野船代理店 一五園 一五園

長

大限限物場橫通

(混合百斤值段)

は更にその範園を擴大しアジェ人に對する制限をも加へた由であり帝國政府はアジア人として日本人が常然その不當制限を蒙むる處れありとの見地からメキシコに於て同地駐地からメキシコに於て同地駐

京吉驛傳マラソン競走

選手の為に

スピードを落さずに行くべき他く迄保つて着質に一歩くはあわてずに自己のペースを

出來て來るから、

れは大して注意する様なした、上り下りがある

滿洲國協和會

北置撤回に関し交渉を

の外関に留學するもの著しく | える學生が日夜勉學に觸んで【東京関通】最近滁洲國學生 | 増え現在では實に二千名を超

寄

は更にその範園を擴大しアジ となると五月十八日の大統領令 はると五月十八日の大統領令

【ハルピン図通】日食觀測の

オムスクへ

滿洲國留日學生

學生會を結成

廿七日發會式學行一

商店新設を禁止する措置に出す人及びアフリカ黒人の工場は五月一日國內に於けるユダは五月一日國內に於けるユダ

日食觀測の

新京取引市況

手形交換高 (六日) 車車車

國 幣三大枚 1124 公司 二 鈔票—枚

福

岡倭岩英太郎

試合方法一二三組に分ち各組共勝抜き決勝ト 式にて優勝者定む

ナ

大

所 新京神社 境內

主催 關西角力新京後接會

援 新京體育聯盟協會、 大阪每日新聞新京支局 社 課 新 滿洲商工 大 京 新 日日新 京 H H 闡 報 報 社 社

後

新裝設備を誇る 第一回新裝記念 麻雀大競技會開始

新京ダイヤ街天平西入 TEL(3)3722#

0 羅し弦に劍味溢るる第一回 夏の夕べに意義深き催しを を博してをります ROR麻雀クラブは此度のホ らしき道を拓いて雀界注視 ル改造を以つて愈々名實共

記念して練達多能の雀人を網 來る六月七日(第一日曜日)午 雀競技大會を開催致します初 後六時より當クラブの新裝を も續々上海より入荷し大好評 殿堂を提げ一大飛躍を試み牌 に満洲隨一を誇り異色高新の ら満喫して下さ

社交 機 半) 競技ルール 質級 一等より十二等まで 質級 一等より十二等まで 外賞役滿貫賞、三連勝賞 8m者全部に粗品進皇 参加者全部に粗品進皇 が切人員四十八名 第一回麻雀大會出場規定 會費金二圓也(但食事附) 開催場所 競技方法 三莊戰 (一莊持時間一時間

大日本麻雀聯盟滿洲本部

雀人の

▲市内各理髪店其他に優待券が有りまう御利用下さい

大豆取引證據金

る貨客を一應京城、釜山間に 向乃至は滿洲向の場合は凡ゆ とになるが逆に内地より朝鮮

等の問題は自由に扱ひ得るこしてゐるのでこの酤連絡期間

國境警察官の

重工業及化學工業の

積極的助成策を考究

總督府産業調査會乘り出す

更に廿圓增徵

門學校を清凉里京城農業學校で京城光化門通り京城法學專

總督府專賣局

跡に移轉せしめその跡地に新 要することになつたが本年度 楽することになったが本年度 等部機算額は五十四萬九千餘 計畫書の完成を俟つて工事に 計畫書の完成を俟つて工事に

の處この程容認されたので愈 第二次追加豫算に計上要求中 第二次追加豫算に計上要求中

(E)

交通取締りに開し

滿當局權限決定

自動車營業者並運轉手取扱は

警務廳に移譲さる

題ではなかららか? を事はもつともつと大事な問題ではなかららか?

ない、民族自決を設いて本富の意味の自治を彼等に自覺せ

れば國は忽ら動搖を

ハイラルにて

しい行倒れが發見せられた、部落の附近で蒙古人の旅人ら

らう、だから部落附近で行倒 担つたものが決つた

北て現地に動務する、若き日 ※官吏は、間々かゝる問題に がつゝかると無力を曝露する とない限り解決出來る問題 ではない、然し乍ら之を蒙古 人まかせにして置いたら何時

人の發展能力は四国の情勢と 原始的な放牧から一歩出でず 原始的な放牧から一歩出でず

した 年前九時發「あじあ」で出發 年前九時發「あじあ」で出發 ・ 香川顧問は日本見學武官團の の多くが此の法典を厳守せは鞏固にあれ 一、寛大と嚴格とに依り規則

延吉縣銅佛寺に 麻藥不正業者

野大符りを行つたが其の結果 野大七百二十四頭を撲殺、又 野大七百二十四頭を撲殺、又 野大七百二十四頭を撲殺、又

陽川驛の次驛たる間島省延吉 陽川驛の次驛たる間島省延吉 野銅佛寺は延吉電菜股份公司 の手で昨秋來電燈湊電工事進 歩中のところ今回竣工し、各 戸への取付け操作も完了した ので、三日より階燈を開始し た、目下の需要電燈敷は約二 た、目下の需要電燈敷は約二

電燈が點る

に市民に呼びかける筈 禁定を見た模様で近く大々的 方面観察の上八日大連鍛途中 持を闖らんとするものゝ如く ルに投宿した。同氏は旅大各

防文教部大臣

撲殺野犬の

五分はとで來述、ヤマトホテ は先づ野犬の一掃からの下に に大連関通〕滿洲國文教部大 【吉林支局】吉林警察應衛生

吉林觀光協

店藥品部にあり

な御家庭に致します。

v

海外代理店

物并 株 304

會株 三 二 社式 井

4元

藥所 童 w 行

O WAY

内容を刷新强化す

新情勢に應じて更に躍進

た 光客の誘致工藝品の開發等に 光客の誘致工藝品の開發等に

慰霊祭に日盛戦役戦歿者

香川顧問出發す

スピードアップとこれに伴ふ (京城支局) 朝鮮鐵道局では ()

準備を急ぎついあるがこの

**+改正上最も重要性を帶** 

關釜連絡船の 鮮滿移管要望さる 鮮滿向け貨客の圓滑化期す

変がく民間有力筋にも大に呼 興論を喚起する必要があるの 来た、これは單に鮮鐵當局の 算關係もあり差當り二百名乃 の時員を必要とする模様で恐 の時員を必要とする模様で恐 の時員を必要とする模様で恐 の時間を必要とする模様で恐 てるる ひ萬全を期すべく見ら

吉林鄉軍支部

基金募集

・ 光都市としての吉林を完成す ・ 光都市としての吉林を完成す ・ 光都市としての吉林を完成す ・ 光都市としての吉林を完成す ・ 大都市としての吉林を完成す ・ 大都市としての吉林を完成す ・ 大都市としての吉林を完成す ・ 大都市としての吉林を完成す

【吉林支局】 滿洲國軍劉討伐 

大國通」七日旅順に於て

參列

白系代表

直本兩中

種々の點から再考すべき點が とい間の配酬だ、早急に成吉 とい間の配酬だ、早急に成吉 とい間の配酬だ、早急に成吉 とい間の配酬だ、早急に成吉 人に成吉思汗の話をし出すとい。蒙古の聖典成吉思汗の教がい一でみよう、(蒙古文にあまり世間に知られてゐ の程度を知る事が出來る〉 あると思料せらるる

將校は何十何百と言ふ大多 一三、年始及び年末に朕の許に 三、年始及び年末に朕の許に

あるが最近調査によるこれら 並に轉業につき種々属心中で 遊類不正販賣業者が著しく増

州國建國以來在滿朝鮮人の麻 「京城支局」北支問題の重大 「京城支局」北支問題の重大 「京城支局」北支問題の重大 「高城支局」北支問題の重大 「高城支局」北支問題の重大 「高城支局」北支問題の重大 「高城支局」北支問題の重大 「高城支局」北支問題の重大 「高城支局」北支問題の重大 「高城支局」北支問題の重大 「高級を一掃するやら出先官」 軍用鳩の通信演習 吉林で實施 鶴根を一掃するやら出先官憲れら不正業者を嚴重に取締り

移動式鳩車の研究 近の密

鹵獲全 職は折からの雨をお

佐藤中尉は臀部よ あるが此の戦場に於

【京城支局】朝鮮鐵道局の今年上半期に比して増加してあ 等上半期の貨典金總額は九十 第圓來る十五日愛令と同時に 現金を支給することとなつた 今期貨與金は總額に於いて昨 昨年より張る 鮮鐵半期賞與 り幾分良くなつてゐる

保ち得ん

く開院記念展**覧會を開催する** 三十一の兩日に**亘つて左の如** 三十一の兩日に**亘つて左の如** 

東南方十二粁附近の密は三日午前四時頃額種

哈爾濱鐵路學院

開院記念展

E

飛すな殺せ

であつて見れば致方あるまい がは 一点 がいまな であって 見れば 致方 ある おな がないのは がないのは かられる お後 所 であって 見れば 致方 あるまい 森醫院 もさばお経高 9物履江



强 蠅 佛 英日 ح 家ダニ・南京虫も 許特 みな殺せ す刻を 危險です、寸刻をあらそ 安眠を妨害し而も皆様の 危險な病菌を撒布したり 得顔に遠慮會釋なく侵入 蚊等の害虫の一團が時を 貴重な血液を貪り吸ふ恐 今や皆様の御家庭には蠅 とアース噴霧器の御備へ 日本一張力殺虫剤アース ひます直に退治て下さ るべきギャングです して來ました へあれば常に清潔と朗

地の同じ形の服を召り

行した方が

東京無線

本・五〇 人形浮和 一、 有鳥朝風 一、 一鳥朝風

·繼 (大阪)

三・〇五 (東京) 三・〇〇 エュース (東京) 三・〇〇 千供の時間 (東京) 一〇 千供の時間 (東京) 一〇 千供の時間 (東京) 一〇 千供の時間 (東京) 一〇 千八 〇〇 ニュース (東京)

九〇〇新樂

吹奏古の

(本東京)

八三〇時報、

鶴澤道八作

(四) 1

子供は白、若い方は明るい色 年寄つた方は黒い色とかいふ 範圍でまづ調和さへ考へれば ・ の反射色でも何でも をれば、の反射色でも何でも をれば、のです。娘

色

鹽、

(奉天)

葱を盛つた上からかけます。 水どきの片栗粉を加へ、新玉水どきの片栗粉を加へ、新玉

二、豚肉キヤベ

ッ ~

「全日 瀬中繼」

安康永基數京直根東京之根東

辛子酢味噌和

大石橋迷鱝山より中繼 マート・〇二〇映書劇 ・一・〇五 野球試合 ・一・〇五 野球試合 ・一・〇五 野球試合 ・一・〇五 野球試合 ・一・〇五 野球試合 ・一・〇五 野球試合

七·三〇 落

余り流行に支配されぬ頂きたいと存じます。

(街を步)

て、さつき

社會局監督官大西醫學博士は、醫學的見地から種 ・イオンの研究を行つて るたが、去る廿七、八兩 日に起つた五十四日目毎 の怪現象電界異變が、今 度は衛生學上よりも亦注 事をたまたま測定器上に 登見して學界の興味を惹 いて居る て調査を開始した内務省とイオンとの關係につい

今迄同博士が研究中得た 会迄同博士が研究中得た は屋外に於る人間の快不 は屋外に於る人間の快不 快の感覺は晴雨 風速 風 向、濕度、溫度等の或調 向、濕度、溫度等の或調 配き にも重大な陽係のある事 を注意するに至った、そこで博士は獨特のイオン数 にも重大な陽係のある事で で博士は獨特のイオン 製 にも重大な陽係のある事で活意するに至った、そこで博士は獨特のイオン

電界異常 變が大影響

日七月六年一十和昭

あるが、たまたま去る世 あるが、たまたま去る世 たらば單位容積中のイオ ならば單位容積中のイオ ならば單位容積中のイオ かが最も多かるべき午後 一時前後即ち電界異變の 起つた前後に於て突如イ オン除が激減して居る事 を競表したこれによつて 整學界の謎となつてみた ビル病は完全に征服され る可く醫學界にセンセイ ションをまき起してゐる せん。誰々とおそろひでとかない。一落しか作らない位で決しない位で決しないのですが、巴里あたりで

世ん。誰々とおそろひでとか何とかいふ趣味をすてゝもつ と獨創を加へて頂さたいと思 ひます。流行とは古い服に一 す獨創的に手を入れて時の好 みを加味する程度で澤山だと 

☆言○○○

初夏の野外音樂
・三〇(京城)京城府三清

10.00 世

懸賞當選浪花節

の廟こそ全隣人間に信仰の

0

、新玉葱含め

鳥そぼろ

、でふくめます。鳥の挽肉した。 題で煮こみお醤油を上窓は茹でてから煮出汁、片栗粉 少々

△「立體寫眞」が發明 されてその特許を出願 この日を誕 生日とす る人には動王家梅田雲 質(文化十二年)があ ります。



武 穢さん

東京より。武田富太郎作・東南京は第一京の姫物 武田富太郎作·東 △作者の 武藏演

畵

慈悲心鳥" 荒牧芳郎。胸色

上型 役 河井龍太郎・江川宇禮雄 京郎の母・吉田一子 で 新 平・高 田 記 で 新 平・ 高 田 記 で 新 平・ 高 田 記 で 一 子 で 一 子 で 一 子 で 一 子 で 一 子 で 一 子 で 一 子





御用の方は電話

トラツク

③三四七〇番

大 衆 食 堂 大 衆 食 堂 大 衆 食 堂

い目ら射た矢を以てそい間の家庭を捜索し彼はかりに慣ります。し

電話商會 電(3)六七〇〇電話商會 電(3)六七〇〇電話商會 電(3)六七〇〇電話商會 電(3)六七〇〇門前南州堂で最3二六二四へ門前南州堂で最3二六二四へ門前南州堂で最3二六二四へ同時は迅速で最30八七七番へ

はのかは 再日しんび記俊ば

> 車と、無路 れる。 (寫眞はその實況) 無數の參詣人で埋め無數の參詣人で埋め 埋めら



し布た種数) 

キリスト教會下中央通九

九州堂療院

んる

ボシン 商會

リクや門大阪商船機

鍼灸院

公債と輔債券買 

本電話店店

速迅切一扱取 湖日通十七番州 電8四八二八 土地建物會計

晝間部御教授又

裁縫教授

新興社

室町四丁目(三) 三井物産前

大和自動車温電大和自動車温電 ネオン 板 I 板と は

帳簿專門 央通一五裕泰號 末松接骨院 電話3三三三四番

三省堂製本所

高橋治療院 陽堂療院

あんま

電影3五八二九巻

自優會本部(平井) 失業路頭に迷りものは本會、 大業路頭に迷りものは本會、

木倉へ、木合なら

電話と金剛 質賞

[日

の様に、シュミーズなしで、 前に、シュミーズなしで、 前に、シュミーズなしで、 前に対策にかり、前に

のけたりなさるのは、丁度和 したり名古屋をしめたりなさ ると同じ位な不護和なのです

大石橋娘々祭の實況

情も木薬微廉にうちくだかれる。その運命の故に美しい方といふ運

命悲劇であります。 おといふ世にもありがちた

人形淨瑠璃

音樂の王者

玉工个

看板山

表面連獅子 後七• 五○

●金融●

植植

樂土の春を謳

考へられてみましたが、これを何等の関係のないことが判りましたかくて幼児の時代に最も大切なものとし強管の表したが低であるかのやうに云はれるかのであります、然も健康が否かの現はれである病氣缺があるかの現はれである病氣缺があるかの現はれである病氣缺があるかの現はれである病氣缺があるかの現はれである病氣缺があるとの子の歩き始めとの関

はいいでは、たりローブをつけたりコート なりローブをつけたりコート なり取りた されでも未だほんとうに ない、それでも未だほんとうに おが、それでもまだほんとうに おいってある方は十人の中半分足 みらずでぜう。第一に氣のつく なっことは帽子と服装と靴との またしん かいっことは帽子と服装と靴との きない かいっことは 前子と服装と靴との きない かいっことは 前子と服装と靴との きない かいっことは 前子と服装と靴との きない かいっこと は は かいっこと は かい

競八十九百七千四郡

關係を

来事認 るがある

雨期、子供の下痢に

林檎のオロシ汁を

大高端は、今や春酣はのお祭 の季節である。その中でも一 の季節である。その中でも一 番有名なのは満洲國大石橋迷 個山の娘々祭である、六月六 るが、これにまつはる傳設は

道中に疲れた機な格好をして 大石橋に程近い山の麓まで来 なくなった。若者は自分も大石橋へ行 なくなった。若者が発力に最初 を出して引いたが無駄だつたが を出して引いたが無駄だつたが を出して引いたが無駄だつたが を出して引いたが無駄だつたが を出して引いたが無駄だつたが を出して引いたが無駄だつたが を見かれたものか車から降り で見かれたものか車から降り で見かれたものか車から降り で見かれたものか車から降り で見かれたものか車から降り で見かれたものか車から降り で見かれたものか車から降り で見かれたものか車から降り で見かれたものが車から降り で見かれたものが車から降り で見かれたものが車がら降り で見かれたものが車がら降り で見かれたものが車がら降り で見かれたものが車がら降り で見かれたものが車から降り で見かれたものが車がら降り で見かれたものが車がら降り

で振り返って行くのな 製はれる程息 と登るこ

返りながら 若者は残り

姿を見送つ

黒田記代、岡護二

日滿

差が中腹に はい計り御ぎ

401

灸

V ...

腸カタルもよくなる

です、即ち映席二十日以上に 三る者のかき始めは男児二人 は一三月と一八月、女兒四人 は一三月と一八月、女兒四人 は一四月、二〇月、二二月、 の早い者は病氣のために學校 から歩 行の早 い選い は稍健 の早い者は病氣のために學校 ればなりません。それをウー を休む事が少いのです。です から歩 行の早 い選い は稍健 のよる帽子はやはり服はソア を休む事が少いのです。です から歩 行の早 い選い は稍健 しいと思ひます。その他エナ を休む事が少いのです。です なる方が少くないのをはづか から歩 行の早 い選い は稍健 しいと思ひます。その他エナ を休む事が少くないのをはづか なる方が少くないのをはづか メルや金のビカノ(光る靴を であります。最後に智能の姿 しいと思ひます。その他エナ

◆……入梅となつて子供が下痢をする機會が多くなり
◆……えおいまご新鮮なりんごの をむいておろしてすり比 皮をむいておろしてすり比 皮をむいておろしてすり比 皮をむいておろしてすり比 皮をむいておろしてすり比 は際に好く滋養もあつて陽 があっただはメキーへよく カタルなどはメキーへよく カタルなどはメキーへよく かまが多いから試みられたい。

抵の子は好んでのむ、これ は際に好く滋養もあつて陽 かったどはメキーへよく かられて飲ますと大 結構のものです。

結構のものです。 なる。大人が飲んでもうま いもので夏の飲料としても なる。大人が飲んでもうま いもので夏の飲料としても

を見いて行つた。途中花をも 州人の若者が、今の營口から 大石橋まで鹽を運ぶために車 を見いて行つた。途中花をも

たの雨が降 花の雨が降

は 大地に座の全身から俄かに での餘り、大地に座 での餘り、大地に座 での餘り、大地に座 でがり、大地に座 でがらは、 でがらは、 でがらば、 でがらば、

曪

日)

體重の

洋

。調和美

け

2

番

組

七 新京放經驗)

二人は一人 氏の令嬢靜

戦で後輔いったのです

の胸を刺さねばならぬ苦し みにあひます。 何故ならその日記幔こそは伊 輔と静子との愛の記録だつだ 軸と静子を残して死んでゆきま も心も疲れきつた俊輔は愛す る静子を残して死んでゆきま したが一方それと同時に龍太 したが一方それと同時に龍太 の女を愛しあはねばならぬと いふ苦しい立場から救はれた のでありました。親友が一人

寸 红

さればならぬ苦し

考へられてゐましたが、これ の五貫八百匁、平均男四貫九 百一匁、女四貫五百八六匁で す、設資のよい即ち肥つた子 供ほど歩き初めが早いやうに 大田である。 大田では、 大田のは、 大田では、 大田では、 大田では、 大田では、 大田では、 大田が、 大田では、 、 大田では、 、 大田では、 大田では、 はいは、 大田では、 はいは、 はい

×××濁創を加味して ××あまり流行を追はず×

・三月、女は一五・ 八月となつてみま普通で、遅れたもので二十六ヶ月位、

いが身體と精神の發達の軍 ・ 大大ヶ月位、不均男は一五 ・ 大大ヶ月位、不均男は一五 ・ と、即ち學業成績の劣つたも と、即ち學業成績の劣つたも

行期は早いのです、學業成績 にその後の精神發達の狀況は にその後の精神發達の狀況は にその後の精神發達の狀況は にその後の精神發達の狀況は であります、歩き初めが、明らか れるものは智能發達が比較的 く、早いものは發達が比較的 るく、その間の關係は著しい

る事に誰でも知つて

、智能の發達にも

影響する)

健康が

遅い

育見に

に大切な常識

女三尺五寸二分ですが、次に尺八寸九分、平均男三尺六寸三尺三寸一分、高いものは三

のを含み、良好のものには歩 れたも がりを

神谷裁縫専修院二十日五ノ四銀バレス前一番 教師 神谷孝経

融

五創

カメラ 古品賣買 お京東二條通り福信ビル角 お品賣買

米には、一度御試食を乞ふの機関の

脚・大町四丁目 物・大町四丁目 第(3)両五二八

社會式株融金和昭

官場現形記

ツ山テの

分の風が南から北へ吹くかげ をれもこれもみな、南から北 とれもこれもみな、南から北 とれもこれもみな、南から北 である。これば多分

は、最もそれにふさはし、 を表はして居るのです。いく を表はして居るのです。いく の人間と違った形と強して脚本の役 ではありません。 大抵の役の氣分は出るものです。いく と妙に間の抜けた形と同じ では、条操りは出るもので 大抵の人は、条操りは出るもので では、をがした形と云つても 大抵の人は、条操りは出るもので

人形 膚浅觀

人形は、人形使ひの姿が見るない方が宜しいやうに思ふえない方が宜しいやうに思ふる人形はである人形をはずらなることは突ばかりの感じのみではたいやうである。人形のみではたいやうである。人形のみではない。

中國の

日 休 載 都合よく出来でゐる。 その二

腸のわすれ栗なんての

持つて

へる迄には凍つて了

信

谷

壽 石

られる様になりたいりれる様になりたい。しかし鴉ばつい。しかし鴉ばつい。私がない。私

泯然自

盡

とで食べるつもりかなんかのわすれ栗なんてのがあるているんなことを聞いたがているんなことを聞いたがしていがある

在 ななれのな

とさいつてゐるそして中にシッポたけ出しての校からパタリと落ちいのない。というという。

なんてのがある たとを聞いだが に、鴉の習性に に、鴉の習性に に、鴉の習性に に、鴉の習性に

**あるのか** 

#### '(可認物便郵種三第))

吹くとくるくる廻つたり飛びかたまつてゐる。そして風がかたまつてゐる。そして風がかたまつてゐる。そして風が

女の若いまだ男をしらない 数か一本の線にも、 スム

であるが場がほとんど見え か留守だから。あたりを見廻 から集をかけてある高医線の を見た。せいせい二つか三つ を見た。せいせい二つから私は観 を見た。せいせい二つから私は観 を見た。せいせい二つからる。 としたのがある。も可とかけん としたのがある。 としたのがよる。 としたのがよる。 としたのがまる。 としたのがまる。 としたのがまる。 としたのがまる。 としたのがまる。 としたのがまる。 としたのがまる。 としたのがまる。 としたのがもしれない。 としたのかもしれない。 としたのかもしれない。 としてみるが場がほとんど見え 隨 筆 見が暮れた とんびがさら 見が見つけて

にいい、ずい分別情な木らしく、何處に植えても少し水を気をつけてやると根をおろして了ふ。私達が子供の時分と春の街路に植えられたのが長春の街路に植えられたのが

飛ぶ血潮を流れる血潮の白い

り吸ひ女の黒髪を引む

らって

ぼろ夜

宇野紫文子

悶ぶる三十女の嬌笑美への優 若き娘の歔劇がきゝ度い 理性を忘れた男の痴的野性

云へばる。つまり極端にある様に思へるがどうがでは遠ふ様に思へるが登んでみ へてゐる 降も内地と満洲 毎日の友

と違つてゐる様な氣がする。 と違つてゐる様な氣がする。 と違つてゐる様な氣がする。 と違つてゐる様な氣がする。 と違つてゐる様な氣がする。 と違いさい時は、西九區、新京)今の羽衣町二二三丁目あたりでも踏みる人とゐたものだ。 っちったが、あの死際の題るさに や持をわるくして夢におびへ でおをわるくして夢におびへ 四角な長い屋根は 元波模様 会は雨の日の海の

おい…くもの親紀 つゝこむ 操 U] 形 1= 就 俺の神経をかき蹴す もつて もつて

40

城

と無はにいる方面は 一と本語の形だと心得であるらいる気が出る、 を表がいるないが、操りの一部によって、 を表がいるではないが、操りの一部によって、 を本語の形とと心がとるのではないが、操りの一部によって、 を本語のではないが、操りの一部によって、 を表がいるでは、 を表がいるでは、 を表がいるでは、 を表がいるでは、 を表がいるでは、 の中から消えて行く。 をではない。 ではない。 ではありますには、 の。 ではない。 ではない。 ではない。 ではない。 ではない。 ではない。 ではない。 ではない。 ではあります。 ではない。 ではない。 ではあります。 ではない。 ではない。 ではない。 ではない。 ではない。 ではあります。 ではない。 ではない。 ではない。 ではない。 ではない。 ではない。 ではない。 ではない。 ではあります。 ではない。 でではない。 でではない。 でではない。 でではない。 でではない。 ででは、 、 、 のではない。 でではない。 ではない。 で 孫三郎

第37 (質) 東京 本部部の新刊は 第一書資料 「関相談談」

春福

Ħ

愈

符 選

盤の

管ラ

ノ賣發りよ アピムロコ

ン管絃樂園

3

仲屋玉突台製作的

ヤヴ ハソ ング管絃樂園ト

クロスピー ボスウェル

內最 地新 製型



seini

よかは

いそう

な女が泣いてゐる

そんなスキャンダル

一九三六、六、音でもきいて

祝町三ノ 東二條通朝日社前 電話③二

一六八七百

Ξ

相談下さ 特に多上が 大口 一報の節は は 致します 特別に御

東一の大音、大箱、関ノ 全建一末度組 東五條通四番 東五條通四番 東五條通四番 東五條通四番 東五條通四番 東五條通四番 東五條通四番 大 舍 部 電三一二五三六

そプ

新調の外套が

新 院長德 京神社 電 (3) 六無 <u> 29</u> スガ











鎮痛・

鋼靜。

新藥

モル

タイ

植村製薬所





御界のフ

スタ

爽快!あじあに

名煙!ブリ

鄉所服務 珍信 質試 受獻帝國妻明協會有功宜受徵帝國妻明協會 仓神 以回

蒙各界御指定御採用

ません、その時になつて限の時になつてまごつかぬやう にである。 道譯が言つた。 「お西類は氣が拔けてはいけ

「外國の酒は届けて來たかね」 類ひ一切出來てゐた、三筍包 は又尋ねた。 は又尋ねた。 て出させた。レモネード等も三荷包は、酒瓶をみな開い 個けて参りました。」

三荷包は又言いた。 「今日客を招くのは勿論無院 が主人だ、だがわしだつで半 が主人だ、だがわしだつで半 が主人だ、だがわしだつで半 がさるは主人みたいなもん 好く心得とかなくてはならん 「外國人が相當像い客を招待する時には、主人が料理を一つ一つ分けるのが好いのですそれから召使に客の前まで運ばせるんです。」と言つた。 ニ 荷包はこの話を願いて、 ニ 荷包はこの話を願いて、

る人の間に、 独院は彼彼 かんなは

対しなった。外國人といふも をんとその時間に來るもので あって、もう一度促進に行っ たりする必要はないのである たりする必要はないのである。 たりする必要はないのである。 であった。十一時を過ぎると 呼んで通譯と一緒に帳房で食 三十分ほどすると、果して外 國人が陰藏としてやって來た が、みた 顕表を整へ が、まるしてやって來た が、みた 通譯を通じてであっ

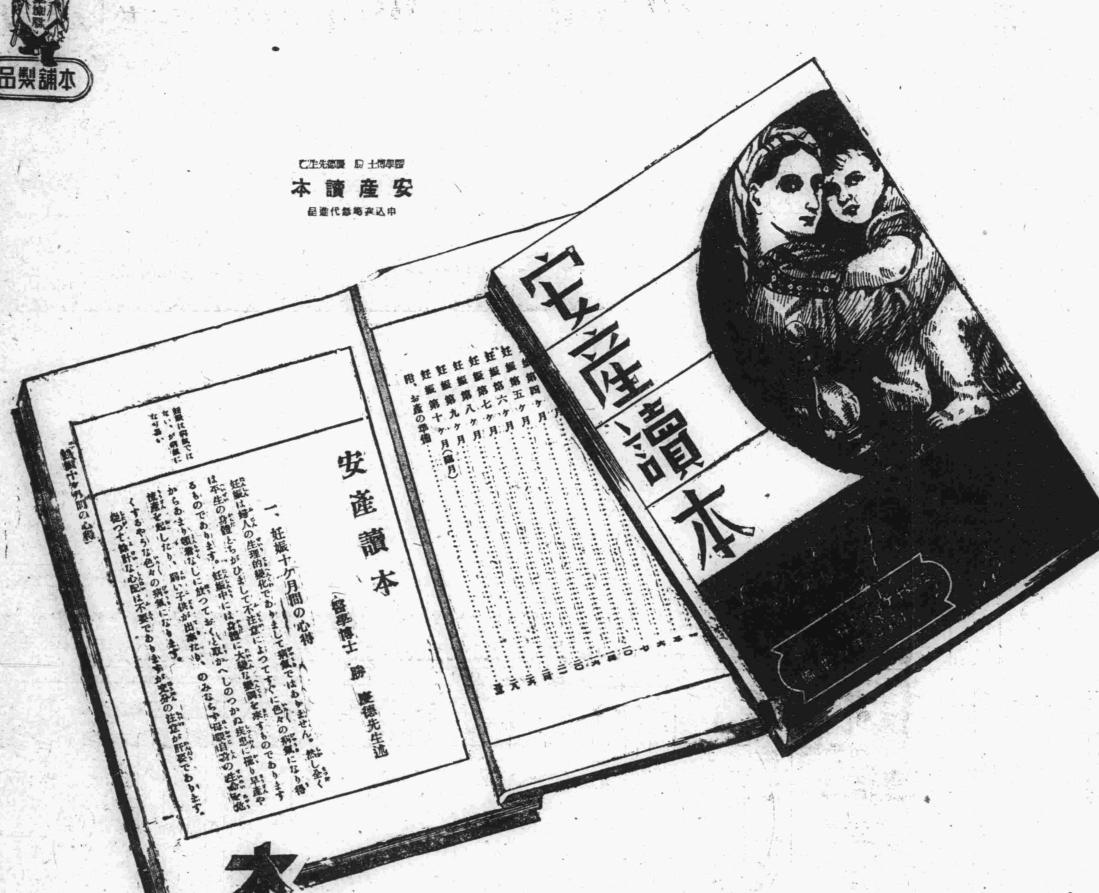
こで無院は杯を擧げて、兩國 はこれを先方に傳へた。かの 首席外國官も同じやうにして 院に譯して聽かせた。 撫院は これに謝し、酒を擧げて、兩國 話をしながら、料理を食つ 話をしながら、料理を食った、知らず覺えずの間にすでに入九種を食ってゐた。そのあとには、どんな料理が出たかも判らない程であった。このひとつ分けて配つた。ところで、どうしたはづみであつたか、スプーンとナイフで彼がか、スプーンとナイフで彼がか、スプーンとサイフで彼がか、スプーンとサイフで彼が

んだのは大へん幸ひであつた 無院からは見付けられずに 海院からは見付けられずに 番院からは見付けられずに 番店がらば見付けられずに 番店がらば見付けられずに 番店がらば見付けられずに 番店がらばしている。 まつたのである。ために彼のまつたのである。ために彼のないである。ために彼のないであった。彼はないで、幸ひこのテーブルにはかって、その酒は直で手で握つって、その酒は直で手で握つって、その酒は直で手で握ったので、別な所まで酒ははねたので、別な所まで酒ははねったので、別な所まで酒ははねったので、別な所まで酒ははねったので、別な所まで酒ははねったので、別な所まで酒ははないだったので、別な所まで酒ははないだった。又大きく長いテーブルだったので、別な所まで酒ははないだった。

三條通滿雙病院東隣
兄犬猫病院

東五條通四番 東五條通四番 東五條通四番

●廣告の御用は電の三三〇〇番へ●



娩分兒女の百二貫一らか體母の餘貫九

山 片 輸本燒園祇 都京

たす餘で胎の拂のりに般に べりす見る初いつ養まはのき注:の期・て生す可方に種は意じる運は頂に対すなは、 ただせれ命。母き、そり妊娠のらまは體に生れす。 研れて普もいれはきに 究。な妊娠の。 がか城に見る先り置し、發力でのでいて 表;た、榮は時で危。あ養;今でて産こ さの養;期・險なり生ま一ちの後= れでのになまに歩らの す關於決時です特に進れ着 にが係は定は期・1別さんる生活

し目はのて娠を前はる法。一つ

至は最にさて大いので傾いやり近れれる體に注い向う育で ま注:てるつ妊症を産えか見い 等。を 蛋は発は特にる 化のつ 胎にそ

特、丸はけ必の要は お太さるなネ 奬!つる 禁えすめた 安養:ブ 致: 丈・産、素・ル 夫\*保\*をト Ĺ な 健\*含 1 まな の産に錠が 5 服 科\*の ん用き産が如う がを院にき 生き勵にか産え れ行うら前に す 獎;の れ 用;養; かはを生ん

の防む白き養;有;や症;自って見っれ 攝ぎさでのうや家でにに 取。胎に脂・無・新たに 妊に中;の 對:依。 に見り防け陳なな振ります。 たいにをれてる中、即は果でてまかな最を制には謝いの経ちはもす 意も限なをでで悪・妊に非。こを必らしら基する阻・娠に常、榮に用。要;てん礎、る中な養; 2 アチ 2 ひな 0 流は毒素影の れ 産:〈 症;響;不 T E. \$2 カ N あ T らやみごを備り 之:の早; 呼,及:は: シー な りウヂまに禁煙を一ばは母はよることは、養なのて合は惹きを癇れてものの 狀、先・す 妊、起・骨。妊、で み 鐵。態にづる婦です軟に婦であか

法製

千百八十 四圓五十 一十一圓八十錢

主

郊

吉 友 澤 籐 社會式株 **町門小西府城京。町本區橋本日京東。町修道區東市阪大** 



拜者が以外に少なく新京驛が 初日の五日は惡天候のため≫

千枚は間遠ひないとの豫想の

に腐った瞬團體

の揃ひ

でれる五層六層の廣大なるもり、これ等ビルデイングはい 大を記してお 大でルを計畫してお 大でルを計畫してお 大でルを計畫してお 大でルを計畫してお 大でルを計畫してお

好天に惠まれて賑ふ

國の奮闘及ばず七對六で惜敗電菜先攻で開始された、滁州

0 0

西公園遺失品

飛ばねど池水に監滅する色電すつかり夏の裝ひとなり数はすっかり夏の裝ひとなり数は

関四○、等外二三圓三○ 東3整體、配當・單一一圓 東3整體、配當・單一一圓 東3整體、配當・單一一圓

競馬 (二)、〇〇〇米

島(小幡)(壘)三審判の下

(日

噻

日)

グ、憲兵司令部廳舎に近く新 中込狀況から見ると三角地帶 の中央通に面した表通りには が、憲兵司令部廳舎に近く新

五分から鈴木(球)小淵、中業の一回職は六日午後四時十

一角懸投に生きた

七對六で

都の偉觀を呈せん

(七)

競表した。

同時に寺院・教會、布教所に關する手續き規定をも制定又は移轉に關する手續きを制定、六日省令を以て發表、[東京國通]外務省では今回潚洲國及支那に於る神社建設

神社の建設、移轉手續を制定

3

春八0八豆(3)堂

間中のと塔水給と口入開公西

飴水

◇空の色さ

トの學費を仕送られてゐた昨年四月以來毎月五十五圓

櫓太鼓を合岡に火の出るやう

三角地帶表通りは

**吳れ』と加藤氏から申込み** 

境内で華々しく肉彈戰が演ぜ

行百餘名は前日乘込み新京神

義兄の厄介 るたのを

氏から學費を援助される事り畑海君も思ひ掛けない加

聞

下れが獨生もさばそ立徒拘

より

明後日か

西大角力

神社々頭に肉弾戦を展開

期待さる、

海底行君(二〇)=假名=は 海藤氏のこの申出に感激し該 富奢を詮衡してみたが二、三 年のところ該當者なく昨年三 月卒業生中成績優秀(三番で 卒業)劍道初段の模範生、畑

### 質困好學 加藤牧場主の美し 靑 表彰方申請

を申請された一新京八島通り曾の耳に入り闢東局へ表彰方たる奇篤な實業家が今度町内たる奇篤な實業家が今度町内 夫君(一八)=假名=は成績 見好で正義觀念に燃へた熟血 見好で正義觀念に燃へた熟血 大ひ母の手一つで育つて來た がいよく、家計に苦んで つたところを又もや加藤氏が中途退學のまでにな 聞きつけて月々十圓づくの

進學出來以他人の子弟の目的から貧困で上紀

この隠れた加藤一この話題の主人公加藤治作氏のとになつて現 加藤氏語る 報恩の

"昔を忘れぬ

四 氏の義學を朝日區々長天野恒 大郎氏が聴き込み來る九月一日陽東局始政記念日を期し加 藤氏の表彰方を天野町内會長から五日陽東局に向け申請中である を訪れると加藤氏をやりながら語える。 事情から思立つ 年前から思立つ をおましたかっ をおましたかっ をいったの でにしていたの でにしていたの でにしていたの

森盗事件犯人
大連の一萬圓 朝鮮で逮捕

新京野球リ

らればと

温當な名前をつけてぬ

所の吉

を分娩

本社最優

秀賞贈

3

獲得者

の豫想全く許されず

興味は

層加はる

者を逮捕取調べの結果、右事安北道鐵山警察署に於て容疑 全國に手配して犯人搜査中約は爾來大連署で管下各署並にた所謂一萬圓竊盜事件に就てた所謂一萬圓竊盜事件に就て 【大連國通】昨年六日十四日 年後一時半より三時半迄の間 に大連市見玉町一漁業高松助 蔵(三八)方の留守宅に侵入玄 職脇四疊半の茶箪笥の上に置 等を窃取し正確銀行から現金銀行通帳並に八十圓部入の郵銀行通帳がに八十圓部入の郵



| 正面を切つての堂々たる角 | 本武の里4其の角力功者は隨い | 土を瞥見するに、その勝れた | 大の里の遺鉢を享く | 土げた腕力の主、精励精進 | 谷世 武の里であらう | 上げた腕力の主、精励精進 | 谷中の里=短軀、剽悍無比、 | 株の里であらう | 上げた腕力の主、精励精進 | 谷中の里=短軀、剽悍無比、 | 株の里であらう | 小成りは大物としての風貌 | に、 | 株の里であらう | 小成りは大物としての風貌 | に 三力士 詐欺前科四犯の强か者である 強山郡鑛山面京部洞居住無職 場山郡鑛山面京部洞居住無職 がは大公三一)で同人は竊盗及 がは、右犯人は石 件を自白六日朝身柄を大連署

は名人武の里の稱がある一と云つていゝであらり、 紅軍、鮮匪三百 大打撃與ふ

二日午後一時歌甸形石橋子に司令部設表、東邊道方面に出司令部設表、東邊道方面に出 9込んで大いに議洲情緒豊かい敷島高女生の百五十名 9乗す前八時鍵の臨時列車には新

落して母子とも健在公園事務を感じてゐた西公園平價將軍寄贈の牝鹿が六日午前五時頃内へと太つた赤ちやんを産みれた金人の後半にあつて寂寥 赤ち やん五匹

於て紅軍鮮匪

鹿

日こそ湧き立つであられば打上げ煙火をに入れば打上げ煙火をあり古色深い大屯娘をあり古色深い大屯娘

編成の臨時

石川驛連絡方 危

六日午前十一時三十二分新京 韓運轉所勤務連結方石川正明 君 (二十一) が驟橋内第一キ 1 4三番線にあつて機関車の 入換作業を終り向へ側車庫に 行かんとして線路を横断の際 折柄入構し來たつた十一時三 十二分新京驟着京岡線二百二 十二分新京驟着京岡線二百二

で保管してゐる、心當りの方 で保管してゐる、心當りの方

生徒募集 生後募集

條勤募集人員 符先員

を關東局衛生課宛送付せられたし新京居住者たること希望者は自筆履歴書

電(3)六二九五~

新築理想的

タイ

ピスト

見

看

護

婦

名

春季第二次競馬 七日目成績

ガラ1二五圓六〇、等一光、配當―一二圓二

ラ1四二圓六〇、等外三 第正三友CI分四三秒一)

れで幾分 関節および右手指三本を繰断った額付 され重傷を負った、駈けつけった額付 され重傷を負った、駈けつける非常を施した結果生命には 

移轉御挨拶

三の、 ガラ1 八回の 三の、 ガラ1 へ 競馬(二、〇〇〇米、

祝町三ノ二青陽ビル二階

張式會

六の十月こ五

的二十才位まで希望者來社 務員募集

番 ^

羽衣町四丁目十八番

東亞看護婦

夏藤田 キ

電話三十二六三九番

ねるにしたが にあるか顔 の新京野球リー得する殊動

政 (二、〇〇〇米、

33 7 6 0 4 4 8 10 4

電業打得安議盗三四残過 (先) 28 藤田 4 3 2 0 2 0 1 0 0 0 6 6 6 6 4 2 0 0 0 1 1 0 1 1 0 1 1 0 0 0 0 1 2 0 0 0 4 高山 5 0 0 0 1 0 0 0 0 2 1 9 荒川 2 0 1 0 0 0 0 3 3 1 7 大島 3 0 0 0 0 1 2 3 0 12 吉井 4 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 1

12 古井 4 0 0 0 0 0 0 0 0

ある

(二分四七秒二) 2 (二分四七秒二) 2 一八圓二〇、等外三 一八圓二〇、等外三 一八圓二〇、第

新京製水所 十五日締切

ミルス・ ピング・クロスビイ コードにて ブラザースの 京の事件の一時

(ダイヤ街久)

會

ジャズ、ハワイ雨バンドも宿本日 (mgm) 午後三時より、 京阪ホールより新人 鴨井和美嬢が参りましたよろし ハワイ雨バンドも演奏!!

**仕候間御賛同相成度候** 日滿條約調印祝賀會左

滿條約

調印祝賀會左記により開催

急

冷藏庫無料奉仕

申込所

新京特別市公署總務科

申

六月九日午後四時迄

キヤビタルダンスホール

會場日

込費所時

金一圓(會券引換に申受く)新京記念公會堂

六月十日午後四時三十分

ケ月 氷代金六圓也

◎毎日水配給
「個別により御家庭用冷藏庫の無料御貨恒例により御家庭用冷藏庫の無料御貨 ◎豫約期日

京地

方事務 市

市 所

長長事

京

京

總

行政資料・情報・地方事情職筆・短歌・俳句・創作・ 大連出張所大連市山縣通第一山縣所大連市山縣通第一山 を御利用下さい引に是非弊社

本社大阪市北區宗是町大阪ビ

電話自四人三二、至四八三五

图 **天阪商運株式會社** 電話二、七六九一番

0 〇センダ K K #

壁を スケサン ンド

0

三四三百四三 ● パートナー群 新京會館

学記念公會室の課りにつき訂正 刊日滿合同大祝賀 自見出しゅ十日午後四時西公 音見出しゅ十日午後四時西公 明正 一刊日滿合同大祝賀

やがつたなっし

でいる。」
でいるのを見向きもまず、役職は無っているのを見向きもまず、役職は無っている。」

であ、これはく、死亡と来

ないに、その野が出体のまわらた。 はずそのがを続かへつた。 成型、見れば部壁の一隅に、黒 成型、見れば部壁の一隅に、黒 で呼ぶと、あたりにあた人々。 が、思はずそのがを続かへつた。 で開か、例の長い既郎の脚をつい たいに、その野が出体のまわらた。

つとするやうな無駄味な変だつた。 楽線の場にはふさはしからぬ、ぞ

一般はよいにぎよつとしたやうに、

が、その時、何を見つけたか、

と突き出らして、その場

幹つ掘った遺化師は、

けい家た一眼の肌が、

つては、どつとあたりの人々を受音に合せて、程らなばを大阪で眼音に合せて、程らなばを大阪で眼

た

る確つ・寄生しひでえことを

た強化師の服を身につけ、長いスートたつた一人ではしゃぎ頭つてる

からした光思の中に、さつきか

消化師はほんたうに解辨つてる

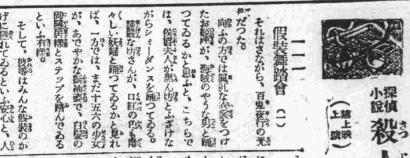
茅場

水 章村

下

酮

技》



がらシェーダンスを踊つてゐる。 は、一方では、まだ十五六の少女 は、一方では、まだ十五六の少女 が、あでやかな振神姿で、白髪のが、あでやかな振神姿で、白髪の は、候ぼ夫人が黒ん坊とふざけな



#### 作。描言と 二硬質軟をしなやれ 用; をし 分光水を水をま 肌をしばった 養ってにではずにいすにいする を養ってにではずにいする 一般も肌・の 洗ぎも 勿ち い 女子や は 種・の 清に料さ十 論な た 夫よつ たは、優などです。 には、優などでする。 でする。 まお、方で後でする。 すいた者でもある。

を整き廻して、不思識な甘い解析なの智が、一層はけしく人々の脳が、一層はけしく人々の脳

を断き廻して、不思識な甘い勝黙 て、死論面といふやつを、直々様での管が、一層はげしく人々の闘 くはねえ。そいつを一つ取り外しての管が、一層はげしく人々の闘 くはねえ。そいつを一つ取り外した。 それを誘導するやうなジャ 佐藤、棚で第一、その壁跡が撃に



## 

症愿適 カイン等 本、コ ヘロイ 0 同 デ 類  $\mathcal{L}$ T 1 毒 似麻 IV . コン

廉低價藥 靜脈用 皮下用 5管入 ¥ 2.20 ¥ 1.80 10管入 ¥ 4.00 ¥ 3.30 20管入 ¥ 7.00 ¥ 5.80 50管入 ¥16.00 ¥13.00

井丸大安井宮大大日 製造 十九人安开己人人 上王正達上竹澤正本 減大堂 號 堂堂繁 昌樂支華 昌鄉 商商會 堂房店房堂店店店社 元

致 元 大 合称 阪 Ti 田東 佐吉大佐井日鶴 **藤 廣 廣 廣 廣 廣 廣** 人同大樂 房 座 藤 廣 齊 堂 堂 房 邊道 醫 五修 町 商 房 店

朝治 療を誤 りて

あると中に療性で がなり。 n

ヒ爲上 毒患最 特者上 効は難 劑其關 さ等の も治一 て扱っ 舊

3 、夜間の安眠、鶯で症狀を伴はず、ぬるが、僅々一―二年

州 特約 未使用 者乞試用

娛樂追求 斯る場合モル からなり。 いたこして醫學したのなり。 快忌は作効 す潮川力 なり、夜間を含み、はかべき症状が 直ちむ ・僅る 民、 営養、 一二筒の 一二筒の 速一幅 (文献進是) にモ

病苦逃避や